◎ピレノキシシ懸濁性点眼液 [外]

【重要度】 【一般製剤名】ピノレキシシ Pirenoxine 【分類】老人性白内障治療点眼剤

【単位】◎5mL/本 [0.005%]

【用法】用時よく振り混ぜたのち、1回1～2滴を1日3～5回点眼する。【懸濁液は橙色】

【透析患者への投与方法】常用量（5）

【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量（5）

【特徴】老人白内障はトリプトファン代謝異常によって生じるキノン体が水晶体蛋白の変性を生じて白内障になる。本剤はキノン体が水晶体の可溶性蛋白と競合的に結合するのを阻止する。本剤を含めて完全に白内障を防止する薬剤はないが、視力の改善や、水晶体の混濁が進行しないことが二重盲検法で確認されている。

【主な副作用・毒性】びまん性表層角膜炎、眼瞼縁炎、結膜充血、結膜炎、刺激感、掻痒感、霧視、目脂、流涙、眼痛、眼の違和感など

【MW】308.25

【備考】上向きに保管。振り混ぜた後に点眼

【更新日】20230410

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。